受賞者の喜びの声

善行表彰を受けて

静岡県御殿場市　勝亦　輝子

この度、令和元年度秋季善行表彰を賜り、心から感謝し厚くお礼申し上げます。

私は、定年退職後精神障がい者の自立の為のグループホーム世話人をさせて頂いています。

色々と大変な事も有りましたが、バランスのとれた夕食等で、皆さんが喜んで明るい家族のようになれる事を努力しています。

庭には、四季の花々や野菜の苗等も植えて道行く方々にも、和やかな気持ちになって頂ける様にと思います。

家族は四世代八人で健康寿命を目指しています。

最後に日本善行会の益々のご発展を祈念いたします。

善行表彰を受けて

福島県郡山市　瀧田　勉

ハーブの苔玉づくりと青少年健全育成

いつの頃からでしょうか？「キレる若者や子どもたち」の「キレる」のニュアンスが違って来たのは・・・？「君キレるよね！」というのは、「君出来るね！いいね!!」言い」ということだったように思うのですが、いつの間にか「キレるよね！」なんて怖くて言えなくなってしまいました・・・（とほほ）・・・

ハーブの苔玉づくりの体験教室を考えだしたのも、そのような思いがかたまったから。

「タイム」は声を「キレイ」に！

「セージ」はカラダを「キレッキレ」に！

ん、「キレる」というのが「キレイ」「キレッキレ」となると「ステキ」「カッコいいんじゃね！」とばかり盛り上がります。

そのハーブを植え込むまんまる苔玉づくりで不思議とココロもまんまるに！

ハーブの苔玉づくりの体験でココロもカラダも「キレイ」に「キレッキレ！」ハーブの苔玉おじさん今日もみんなをまるめます！

善行表彰を受けて

愛媛県四国中央市　坂上　宏

この度令和元年度秋季善行表彰を「公共生活への貢献」という分野で賞状受取の代表としての栄誉を賜りました。

平成十一年に妻を伴い帰郷し、勤務の傍ら地域の為に何かお役に立てる事をと考え、私でも出来そうな交通安全協会指導員の末席に加えていただきました。

私の住む地は、過疎地域で高齢者の多い山里ですが、四季折々には山野が様々の美しさを見せてくれる景勝地も多くあります。

この地で余生を暮らす覚悟のもと、高齢者の見守り活動やボランティア活動の幅を広げて、現在は自然保護指導員と民生児童委員や地域の清掃活動をはじめイベントにも加えて頂き、微力ながらも誇りを感じつつ、この賞に恥じぬ善行活動を今後も継続して行きたいと考えております。

最後になりましたが、善行会本部や支部の皆様に心より感謝申し上げ、感想とお礼の言葉といたします。

善行表彰を受けて

宮城県仙台市　相澤　雅子

この度は、思いもかけず善行表彰を賜り、心より感謝申し上げます。私が活動しているボランティアグループ布の絵本づくり「かざぐるま」は、一九八二年に発足しました。子どもたちに安心なおもちゃづくりを心掛けており、手づくり講座や読み聞かせ、布のおもちゃの貸し出しなど、親子に寄り添った活動をしています。また、市民センター、児童館、区役所とも連携し、子育て支援を行っています。

他には、少年補導員として、警察の方との街頭補導活動や、中学生、大学生と一緒に万引き防止、防犯等の啓蒙活動を行っています。区民まつりでは、中学生と共に非行防止や防犯を目的とした広報活動を取り入れています。中学生が考えた防犯クイズや紙芝居、かるたなどは大変好評で、小さな子どもから年配の方々まで多くの方が楽しむ姿が見られます。

今回の表彰を受け、地域のためにできることを一つ一つ精一杯取り組んでいきたいと改めて感じました。

芸能奉仕団 活動報告

東京都豊島区　野村　松江

昭和、平成、令和と芸能ボランティアに参加させて頂いております。

来年は八十歳になります。

最初から家族には負担かけず衣装、交通費も（レストラン勤務四十年余）自分で働きいくつもの団体（山吹会、寄席芸能、東京ボランティア、望みの会、歩みの会）その中でも、あすなろ会左真紀一座の座員として、皆様と共に有意義な活動をおくり、今は私の生き甲斐となっております。座長には感謝の言葉しかございません。

また、都民連盟の指導員として、浜町中央区スポーツセンターにて、オリンピック二〇二〇の指導を受け、微力ながらお教えしております。

健康であったからこそと思っております。

まじかになっておりますお池袋新大劇場の柿おとし十月にせまり年相応に楽しい、忙しい毎日をおくっております。

皆様のご縁に感謝し声をかけ合いながら頑張るつもりです。

支部だより

東京都練馬支部

東京ブロック会オリジナルバス見学会の開催

日本善行会東京ブロック会（栗原　忍ブロック長）のはとバス見学会が十一月二十八日に開催され見学会は豊洲市場と迎賓館、赤坂離宮を見学し、昼食と懇親会は赤坂エクセルホテル東急で、これは、はとバスに交渉したオリジナルスペシャルコースです。

ホテル東急での昼食・懇親会では、栗原ブロック長、石毛利雄相談役の挨拶、石井將博本部常務理事の乾杯の音頭でオープニングとなり、歓談に華が咲く中、懇親の絆が更なる強固になった。

※司会、轟豊藏副ブロック長
フィニッシュの挨拶、島田益吉副ブロック長

大分県大分支部

令和元年「秋の全国交通安全運動」に参加

令和元年九月二十一日から九月三十日までの十日間「秋の全国交通安全運動」が実施され、大分支部も例年通り参加を九月二十六日（木）十四時から大竹町市内商店街の中心、大分中央警察署の署員、二名ドーム広場に於いて支部長ラの挨拶、会員十五名の参加者で実施した。

当支部は九月二日の役員会で、松井意見の後、用意した作手作り「折り鶴」を手に交通安全の呼び掛けを船瀬清子会長の挨拶を頂き、ご協力を頂き、全三件三名の全死亡事故が中に発生しており交通安全の呼び掛けにも力が入る。道行く人も、立ち止まってチラシと折り鶴を受け取ってくれた。今年は大分県で「ラグビーのワールドカップ」が十月二十日から五試合行われる。約二十日間、事件や事故の無いことを願うことが、外国からのお客様への「おもてなし」と思う。約三十分の活動だったが、意した配布物が終了、全員で集合写真を撮り解散した。

善行川柳

選者　東　逸平

○驚嘆や　悲喜交々の　神無月

北海道　齊藤　勉

評／全国の神々が出雲大社に集まって諸国に神々が留守になることから神々が居ない月、神無し月。陰暦10月。季語は冬。どうも、季語を入れると俳句になってしまいますね。俳句にしても川柳にしても、驚嘆と悲喜交々は心情が重なってしまうので、よろしくないですな。川柳に季語は要らないですよね。入れる時は慎重に

○ラグビーの　楽しさ知った　W杯

東京都　神鳥谷知己

評／全国が沸きましたね。ワンチームの精神は平和のシンボルとなりましたね。こうして時事の出来事を入れると人目を惹く川柳になりますね。ありのままに呟いた素直さを買いましょう。

○火の用心　法被がにあう　少年団

大分県　佐藤　満洋

評／もちびっ子たちに法被は本当に良く似合うんですよね。この句もありのままに、口を突いて出た言葉をそのまま書いています。そこが良かったですよ。夜の村を回る少年団の情景がありありと浮かんできますよ。

三人の作者の合わせて六句を見させていただいたが、新年の誌面に載るモチーフが欲しかったですね。今年の出来事だけを追うのではなく、新年を夢見るような作句も出来るはずですよ。

新年号に載る句であるという配慮も皆さんの腕前なら出来るはずですよね。